



2 学期終業式から 3 学期始業式へ 冬の成長 AGATA GO!

2 学期の終業式では、生徒代表として 1 年の古澤空雅さん、2 年高橋奈津季さん、3 年の平本庵李さん、生徒会代表の佐渡銀星さんが、2 学期の振り返りを発表しました。

☆学んだことや成長したこと、今後について

- 校外学習をとおして、仲間と協力したり、視野を広げたりするなど、学び続ける姿勢の大切さを学んだ。
- 修学旅行の経験をとおして、時間を守ることや考えて行動することができるようになった。
- 文化発表会などの行事をとおして、個人と集団の成長を遂げた。受験は団体戦。卒業を惜しまれる学年を目指す。
- 挨拶運動や募金活動に思いを込める。生徒会の新しい活動により皆の声を生かしてよい学校にしたい。

3 学期の始業式では、生徒代表として 1 年の佐師皐乃さん、2 年の竹平衣沙さん、3 年の桃園瑠華さん（当日は欠席）、生徒会代表の藤丸結月さんが表明した 3 学期の抱負の概要です。

☆3 学期に頑張りたいこと

- 凡事徹底、当たり前を当たり前。その中でも、切り替えと言葉遣いを丁寧にすること。
- 学習面の基礎固め。進級した際の学習に対応できる力をつける。最高学年を目の前に、学校全体の手本となる学年を目指す。
- 3 年生の姿を残す。今までやってきたことを受験で精一杯出し切る。学年目標は「完成」。「完成」した状態で後輩へ引き継ぐ！
- 各委員会活動の活性化を図る。3 年生をサポートできるような学校の雰囲気づくり。3 学期は次の学年の 0 学期。しっかりと準備をする。



秋から冬にかけての挑戦

第 2 1 回つわぶきカップ 中学生バスケットボール大会

女子バスケットボール部
第 3 位

県トップリーグ 2 部

サッカー部
年間 MVP、得点王
3 年 久保田魁叶

来年度は 1 部リーグに昇格！

第 5 1 回県アンサンブルコンテスト 吹奏楽部

金管五重奏 金賞

2 年 枝尾真美 宮下季子 垂水羅麗 濱川結愛 松田莉菜

木管三重奏 銀賞

2 年 小松幹奈 藤丸結月 河野茜音

県女子駅伝競走大会派遣 日南市選手団派遣 陸上部

1 / 25 (日) 10 : 30 スタート

日南市総合運動公園陸上競技場

1 年 田村咲笑 2 年 時枝 愛

新入生説明会

1年生はもうすぐ先輩。1月9日は小学6年生とその保護者対象の説明会。右は、生徒会役員6名の様子。彼らは学校生活や学校のルールについて、右下のようなスライドを使って説明しました。先輩の姿を憧れの目で見る小学生がいたのではないのでしょうか。その後、生徒指導主事の池田先生が部活動や学校のルールについて説明。事務主任の米良先生が事務手続きを説明している間に、6年生は校内を見学。部活動見学もありました。小学生に中学校の雰囲気を少しでも味わい、ワクワクした気持ちをもって入学してもらえたら嬉しいです。3学期の間に、4月に新入生を迎える準備を進めていきましょう。



準備の1つとして通学路と送迎を改めて紹介。交通量が多い市街地にあり、車の出入り口が狭く、毎朝約400名が通う本校には、一般的な法律には定められていない校内のルールやマナーがあります。

通学路について

- ・遮断機のない線路は通らない
- ・横断歩道や踏切を渡る時は一旦停止、自転車を押して通ることを勧める
- ・大きい道路をなるべく通る
- ・広がって登下校しない
- ・学校前の道路及びグランド西側の道路は、自転車を押して登下校すること。

送迎について

- ・一里松交差点から日南学園前交差点までの道路は乗り降り禁止とする。また、みなと整骨院看板横の路地やビューティークリニックコダマ横の路地も狭く危ないため乗り降り禁止とする。
 - ・スーパー戸村などの店を送迎の待ち合わせ場所とするのは、好ましいことではない。
- 送迎に頼らず、自力での登下校を目指そう！**

自分一人ぐらい守らなくても影響はないと考える人が400名いたとしたら・・・どうでしょう。これも、社会に出てくために必要な学びです。ご家族で話し合ってください、これまでどおりご理解とご協力をお願いいたします。もちろん、事情がある場合は、車による校内乗り入れ登校は可能です。その場合は、事前に相談を受け、「校内乗り入れ許可証」を発行しております。ご安心ください。

1年生職業講話

農業を営まれている穂田幸治 様、プロサッカーコーチの神戸昌宏 様のご講話。信念をもち、人生を切り開いている方のお話は心に響きます。1年生が食い入るように話を聞いていました。「したいこと、できること、すべきこと」人生進行中、一生自分は自分。人生を突き進んでほしいと心から願います。



ある日の昼休み。学校に来客。その方は杖をついて玄関に入ってこられました。若干、歩行が不自由な様子。その方が靴を脱ぎ、廊下にながろうとする様子を見ていた3年生女子。自然に近くにかけより、スリッパをはきやすいようにその方に向け、段差を上げる様子を見守っていました。お客様を歓迎し、何かあれば手伝う用意がありますという気持ちが表れていました。困っているかもしれない人を見かけたとき、勇気を出して行動することは簡単なようで難しいものです。

吾田中には、「考えて、挑戦できる」生徒がたくさんいます。